

Table with 4 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名. Includes details like '有害鳥獣捕獲奨励事業', '総計画体系', '所属部 産業振興部', '所属課 農林振興課', '政策名 (V)賑わいあふれる雲南市<産業・雇用>', '所属G 森林バイオマスグループ', '施策名 (33)農業の振興', '担当者名 藤本万葉', '基本事業名 (096)生産基盤の整備・保全', '予算科目 01131011501', '中事業 有害鳥獣捕獲奨励事業'.

1 現状把握の部

(1)事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述), ③開始したきっかけ. Includes checkboxes for '単年度のみ', '単年度繰返(16年度~)', '期間限定複数年度'. Content: '鳥獣による農作物被害を防止するため鳥獣の駆除等を行う事業。', '合併前の旧6町村において、猪などの鳥獣による農作物被害を防止するための駆除対策が講じられており、合併後も継続実施している。'

(2)トータルコスト

Table with 2 main columns: ①事業費の内訳(概要), ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等). Includes sub-tables for '事業費の内訳' (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)) and '延べ業務時間の内訳' (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B)).

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 2 main columns: ①主な活動, ⑤活動指標. Includes '23年度実績(23年度に行った主な活動)' and '24年度計画(24年度に計画している主な活動)'. Activity: '有害鳥獣の駆除に係る事務', '有害鳥獣活動費の支払い', '猪・クマ捕獲用檻の購入 等'. Indicator: 'ア 申込者数'.

Table with 2 main columns: ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(対象がどのような状態になるのか), ④結果(どんな上位目的に結び付けるのか), ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes '有害鳥獣駆除班', '有害鳥獣', '農家', '農作物'. Indicator: 'ア 駆除班員', 'イ 農家戸数'. Outcome: 'ア 有害鳥獣駆除頭数'. Result: 'ア 市内の農業所得総額'.

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? ②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯 ③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? Content: '依然として有害鳥獣による農作物被害が多い。銃免許保持者が減少しているため銃による駆除者の確保が課題となっている。', '捕獲報償費について猟友会との話合いの結果、平成21年度よりイノシシの報償金について檻の場合は10千円、檻以外は25千円に削減することで理解を得て実施している。', '農家・議会等から、さらに有害鳥獣駆除に力を入れて欲しいとの意見がある。'

事務事業名	有害鳥獣捕獲奨励事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↘ 有害鳥獣による農作物への被害防止を図ることは農家の生産意欲にもつながり、その結果、雲南市の農業振興にもつながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↘ 有害鳥獣の駆除許可は関係法令等により市へ権限が委譲されているため行政が実施する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↘ 対象は、農作物に被害を及ぼす鳥獣と農作物を生産している農家を対象としており妥当である。意図は、有害鳥獣駆除により農家の営農活動を守ることを目的としており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↘ 限られた駆除班員で実施しており、かつ野生鳥獣が相手のため成果の向上には限界がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↘ 事業を廃止すれば鳥獣被害が増加して農家の生産意欲の著しい低下を招き、多くの耕作放棄地が発生し、ひいては集落の崩壊等につながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↘ 類似事業はないため他に手段はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↘ 報償費の減額は実施してきており、減少する駆除班員での大変な駆除活動を支援するため、これ以上の事業費の削減余地は無い。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↘ 捕獲の確認については、職員が1頭ずつ確認を行う必要がある。確認事務の委託等による人件費の削減が考えられるが、委託先がある程度この事業に知識と経験を有する者に限定されるため、委託先の確保が難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↘ 有害鳥獣を駆除し農作物への被害防止を図ることは市内農家と市の農業振興に必要であり、受益者負担は公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度は22年度に比べ駆除頭数や被害は減少したが、被害を少なくするため、更なる事業実施が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
農家の防除意識、集落環境の改善により鳥獣に強い農地づくりの実現が出来れば駆除の効果も高まる。																						